

公共団体
ニアラサル
モノ

此ノ如ク公共団体ノ國家ニ對シ有スル義務ハ公法上ノ義務
ナリ此義務ハ法律其他公法上ノ原因ヨリ生シ私法上ノ行為
ニヨリテ負ラニアラス故ニ私設会社國家ト請負契約ヲナシモ公
共団体トナラナシ
公共団体之義務ヲ執行スルノ義務ハ國家ニ對スル義務ナリ故ニ
私立会社公衆ノ求メニ応スル義務ヲ法律上有スルモノハ公
共団体トナラズ
公共団体ノ國家ニ對スル義務ハ団体ハ義務ミレテ概テノ義務
ニアラス故ニ私ノ団体ニ付テモ國家ハ其概テノ違法行為ニ對シ
団体又ハ社員ヲ保護スル為強制ヲ行フアルモ為ニ公共団体
トナラナシ
公共団体ノ國家ニ對スル義務ハ自己ノ生存ハ目的タル義務
ヲ行フニ依リ私設鐵道会社國家ニ對シ軍隊輸送ノ義務ナル
モ為ニ公共団体トナラス
要之公共団体トハ自己ノ生存目的タル國家義務ヲ所理スル公

營造物
ノ觀念

法上ノ義務ヲ國家ニ對シ負担スル団体ナリ
官廳ノ觀ト似テ是ナルハ營造物ナリ官廳モ國家行政ヲ行フ手
段ナリ營造物亦國家行政ノ手段ナリ然レモ營造物ノ觀念ハ
一方ニ於テ官廳ノ觀念ヨリモ狭ク一方ニ於テハ之ヨリ広シ營造
物ナル觀念ハ行政法ノ *Service public* ノ如ク広カラス此者ハ
人ノ元素ト物質的ノ元素ヨリナリ一定ノ公共ノ目的ニ充テラレ
タル國家ノ手段ノ全体ヲ云フ (*isto magis 行政法*)
Service public ニテ人格ヲ賦予セラシモノヲ *collective*
movement public ト云フ此意味ニ於テハ官廳モ其人負ト官署
ノ設備ヲ并セテ一營造物ナリ
獨乙行政法ノ *Verwalt* トハ上列ノ *Service public* ノ意ヨリ
ニ狭キカ如シ *jurisdominij* ハ奧太利國法ニ於テ營造物ト官
廳ノ區別ヲ説ケリ其説ニ曰ク營造物ノ官廳ト異レハ前者ハ
物質的ノ義務ノ執行ヲ委任セラハ、アリ官廳ハ專直接ニ國

家ノ目的ヲ達スルモノナリ。官廳ハ國家ノ目的ノ外他ノ目的ヲ有スルナリ。又此目的ヲ達スルニ他ノ目的ヲ達スルニヨリ間接ニ之ヲナスニアラス。營造物ハ反之先直接ニ其目的ヲ達スルモノニシテ而シテ其目的ハ國家ノ目的ヲ達スル手段ナリ。國立病院ハ病者治療ノ目的アリ之等ノ目的ヲ達スルハ國家ノ利益トナリ。徒テ國家ノ目的ヲ間接ニ達スルニシテ

我國ニ營造物ト云フハ外國ノ觀念ヨリ狭シ。又 *Grampbesonisch* *Grampbesonisch*ノ觀念ハ稍々明瞭ヲ欠クノ憾アリ。然レ凡此ニ觀念共ニ真理ヲ含マストセム。

一營造物
ハ直接ニ
公衆ノ利
益ニ供ス
ランモノ
ナリ

營造物ハ公共ノ用ニ供スルモノナリ。國家ノ目的ニ供スルモノト雖モ單ニ收入ヲ目的トスル財産ノ如キ營造物ニアラス。營造物亦國家ノ一財源タルモ主トシテ公衆ニ直接ノ利益ヲ與フルモノナリ。故ニ官署ノ建物ノ如キハ公共ノ用ニ供スレバ營造物ニアラス。營造物ノ作為ハ性質上独リ國家ニ專屬スル事業ニアラス。鐵道ノ如キ私人亦之ヲ營ハシ *Grampbesonisch*ノ營造物ノ直接ノ

一營造物
ハ公衆命
令ヲ作
用ニヨル
モノニア
ラス

目的ハ國家ノ目的ニアラストハ此意ナルニ故ニ人民ニ對シテ國家ノ命令權ヲ行フ官廳ハ營造物ト稱ス。カラス

營造物ノ作為ハ主トシテ莫實のモノナリ *Grampbesonisch*ノモノナリ

國家命令權ノ作用ニアラス

營造物ヲ設立スル為設立維持ノ義務ヲ地方團體ニ負ハシムルアリ又就學ノ義務ヲ負ハシムル如キモノアリテ營造物ニ對シテ國家ノ命令權ノ作用ヲ要スルモノアルモ是營造物自身ノ作為ニアラス

營造物ニシテ多少ノ命令權ヲ行フモノナシトセム。例ハ學校生徒ニ對シテ命令及懲戒ノ權アリ。然レ是特別ノ服從ニ係ニ本キ直接ニ臣民ノ國家ニ對スル服從ニ係ニ本キ國家ノ命令權ノ作用ニアラス。要之營造物ハ國家ノ命令權ノ作用ニヨラスシテ直接ニ公衆ノ利益ニ供セラルル手段ヲ總稱セルモノナリ

營造物ノ作為ハ性質上國家ニ專屬スルモノニアラス。營造物ノ設立維持ハ國家專有ノ義務ニアラス。公共團體ノ如キ營造物ヲ設立シ得ルノミナラス。寧ろ之ヲ以テ主タル義務トセリ。獨之ニ止ラス私人

營造物
ノ所屬

在營造物ヲ設立維持スルアリ

一營造物カ國ノ營造物ナリヤ公共団体ノソレナリヤ將私人ノソレ

ナリヤハ現在ノ法規ニヨリ其何人ノ支業ツリヤニ依リテ決スヘシ

而シテ其何人ノ支業タリヤヲ認ムルニ付テハ費用ノ負担ノ如キモ

推測ノ一根柢タレモ必スシモ之レノヨリ決スヘカラス

國家ハ或支業ヲ自己ノ支業ト認メナカラ特別規定ニヨリ公共

団体ニ費用ヲ負担セシムルアリ此場合ハ營造物ノ所屬ハ費

用ノ負担ニ干セス(例ハ小學校ノ如シ)

營造物ハ或ハ人ト物トニヨリ成リ又或ハ物ノニヨリ成ル、營造物ノ

目的ヲ達スルハ或物ノ設備ニヨリ足レリトシ是ヲ使用スル人民ノ行為

ニヨリ益チニ効用ヲ生スルモノアリ(道路等)

營造物々件ノミヨリナルハ此ノ如キ物件ヲ公有物ト云フ(例

Post Office, Gas Works)

公有物ハ獨立シテ一般營造物ヲナス物件ナリ、此觀念ハ之レヲ

公用財産ト混企スヘカラス

公用財産ニテラ

國家ノ財産ハ收益財産ト公用財産ノ二種ニ分ツ、第一種トス

官廳ノ建物敷地ハ收益ニ供セサルモヨリ一種ノ公用財産ナリ然レモ

公有物ニテラス

公有物ハ國又ハ公共団体ノ所有ニ屬スルモノナリ又ハ本来所有權

ノ目的トナリ得サルモノナルカハ一疑問ニシテ或ハ公有物ニ所有權ヲ國

家ハ之ニ于シ其命令權ヲ行フニ過キスト至極ナルモノアリ此説ニヨレハ公

有物ヨリ生スル諸種ノ産物ハ國家又ハ公共団体ニ屬セス之ヲ無

主物ト認ムルヲ要ス又公有物ノ公用ヲ廢スルハ無主物トシテ先

占ニ委スルカ又ハ法規ニヨリ國有ニ歸スルモノトセサル可ラス、後ノ場

合ニ於テハ公共団体ニ屬セシ公有物亦公用ヲ廢スルト今時ニ其ノ

所有ヲ齒レ國有ニ歸ス然レモ公供ノ使用ニ供スルハ所有權ト而

立シ得サルニアラス唯所有權ハ公用ニ供スル間大制限ヲ受クルノミ

故ニ公有物ノ公用ヲ廢セハ所有權ハ再完全ノ作用ヲ生シ所有

者ハ自由ニ所分スル權ヲ得ヘシ

公有物ノ所有者ハ國ニ限ラス公共団体又一私人タルアリ然レモ

公共物ニ
アラズ

行又其七編

現行法
制限

公共物ノ如キ性質上當然一般ノ使用ニ供セラレハク持之ヲ公衆
ノ利益ニ供スル働ナキモノハ營造物ト云フ(海)此ノ如キ物ノ性
質上所有權ノ存ス可ラザルモノハ公有物トラス
公有物ハ所有權ノ存在ヲ妨ケサレ現行法規中反對原則ヲ取レ
ルモノナレトマス、河川法ハ河川敷地及流水ハ私權ノ目的トナルヲ
得スト規定セリ(是ハ民法ノ主義ナリ)
第三編 地方行政ノ組織

第一章 自治

自治ノ
起原
代議政治近時憲法ノ元別タル如ク自治ハ地方行政ノ元別ナリ
代議政治ハ尤早ク英國ニ發達シ諸國概直接間接ニ之ニ模セシ
ト全ク自治亦古來諸國ニ多少ノ痕跡アレ近來ノ立法上ノ元別
トナリタルハ直接又ハ間接ニ英國制度ノ影響ヲ受テタルモノナリ
英國ニ自治ト云フハ憲法ト行政法トノ區別モナク中央行政ト地
方行政トノ區別モナク苟モ人民ノ參予スル政治ハ皆自治ト稱ス故
ニ國會亦自治制ナリ其多數ニヨリ更迭スル内閣モ自治制ナリ陪

審官ノ參予モ自治制ナリ治安判事警察行政ヲ行フモ自治制
ナリ合衆國ニハ大統領亦自治ノ組織ノ一部ナリトセリ國家ノ組織及
行政ノミナラズ自治ノ觀念ハ各種ノ結社團結ニモ及ヒ社英自由ニ自
秩序ヲ定メ事業ヲ行フモノハ皆之ヲ自治ト稱セリ自治ニ對スルモ
ノハ名譽職又ハ代議職ヲ行フモノハ皆之ヲ自治ト稱セリ自治ニ對スルモ
及之ニヨリ行フ行政ナリ要スルニ自治ハ公民カ單ニ政治行政ノ目的
物タルニ止ラズ進テ協會更迭ニ參予シ權利ト責任ヲ分配スルノ觀
念ニ本クモノナリ

自治論
gnat

此ノ如ク代議政治ハ英ニ於テハ自治ナル一大制度ノ一部分タルニ過
キサレ氏英制始メテ大陸ニ知ラレヤ英ノ自由ノ基礎ハ國會政治ニ
アリトシ重テ憲法ニ置キ行政組織ハ一モ之ヲ顧ミ入法治國ノ法
治國タル所以ハ立法權ヲ有スル國會ト國會ノ多數ニヨリ更迭スル
内閣トニヨリテ尽セリト誤信セリ此誤想ヲ退ケ政大陸ニ地方自治
ノ必要ヲ主張セリハ Rudolph von Gneist ナリ
其大要ヲ擧レハ社会國家間ニハ常ニ衝突ナリ Gesellschaft ハ其

行政法凡論

17

賤ノ分配ニヨリ生スル組織ナリ貧者ハ富者ニ隷屬スルハ社会ニ於テ
ル勢ナリ富者ハ勢力ヲ維持シ伸張スルヲ力ナシ貧者ハ其抑壓ヲ減
シ之ヲ免レンコトヲ力ナシ於此社会ニ利益ノ衝突ヲ生ス之ヲ自然ノ勢
ニ放任セハ終ニ強者弱者ヲ抑壓スルニ歸スルニ故ニ自由ノ概念トス
ルハ社会ノ傾向ナリ此傾向ヲ抑制スル人民ノ自由ヲ保護スルハ國家
ノ務ナリ

利益ハ社会ノ原動力ニシテ義務ハ國家ノ原動力ナリ人ノ徳義
ニヨリ利益ノ念ヲ抑フヘキカ如ク國民ハ國家的組織ニヨリ社会ノ
勢ヲ制スヘキナリ道德ノ思想ト利益ノ念カ何人ノ生活ニ衝突スル
如ク國家ト社会ノ間ニハ常ニ衝突ヲ免レス

然レモ近代ノ國家ハ昔ノ專制的ノモノ、如ク社会ノ自由ナル活動
ヲ全ク抑壓スルコトナク寧ハ自ラ社会トノ調和ヲ計ルヲ要ス而シテ其
手段ノ尤有効ナルハ英國ニ実効ヲ奏セシメタル自治制ナリ

代議政治ニ自治制ノ基礎ナケレハ終ニ少数ヲ抑壓シ社会國
家ノ組織ヲ利用シ其勢力ヲ逞クスルニ止ルヘシ自治ハ社会ニ勢力

ヲ有スル階級ヲレテ常ニ國家ノ行政ヲ担任セシメ由リテ義務ノ
思想ト行政ニ関スル知識ヲ社会ノ有力ナル元素ニ侵漸セシメ代議
政治ノ基礎ヲ作ルナリト故ニ我々ハ自治ヲ國家ト社会トノ
鎖ナリト稱セリ

自治ノ基
ヲナス思想
(1) 党派政治
ノ影響ヲ
脱シ確實
ナル行政ヲ
得ヘキト

代議政治ノ行ハルニ從ヒ政府ハ勢力ノ消長ニヨリ更迭ス
ヘケレハ行政ヲ掌テ内閣ニ隷屬スル國家ノ行政官廳ニ一任セハ行政ハ
凡テ党派ノ勢ヲ受ケ其消長ト共ニ動揺スヘシ

自治制ヲ設クルハ少クモ地方行政ハ党派ノ内閣ヨリ独立セル機
干ノ手ニテハ党派政治ノ影響ヲ受クル少ク確實ナル公平ナル行政
ヲ得ヘシ

(2) 人民ノ公
共心ヲ養
フヲ要ス

且人民ノ奉公ノ精神ヲ養フニハ之ヲシテ自ラ公共義務ニ従セシム
ルヨリヨキハナシ若人民ニ此概念ヲ有セシメザランカ人々皆國家ニ依

(3) 實際ノ
事情ニ

頼シ自何ノ利ニ專ラニ些モ國家ノ公益ヲ顧ミサルレ民ハ之ヲ知ラ
シムシ抑ラシムヘカラストハ自治制ノ基ク所ナリ

加之全國統一ノ政ヲ布キ中央機干ニ隷屬スル地方機干ニ行政ヲ一任

守文去凡命

自治ノ
行政
ヲ得
キ

自治ノ
行政
ヲ得
キ

自治ノ
行政
ヲ得
キ

セハ支分敏活ノ利或ハトルヘキモ實際ノ支情ニ適応スル行政ヲ施スヲ
望ムヘカラス地方ノ実況ニ通ズルハ地方住民ナリ且各自ノ利益ニ影響
アル地方ノ利益ヲ計ルニ尤モ親切ナルハ地方住民ナリ故ニ警察ノ如
キ統一ト敏活ヲ要スルハ暫ク置キ一般ノ地方行政ニ可及的住民ヲシ
テ担任セシムルハ行政ノ實際ニ適応スルヲ求ムル途ナリ

以上述べシハ自治制ノ基ヲナセル思想ナリ
此ノ思想ニ本キ我國ニモ夙ニ地方ニ自治ヲ許ス方針ヲトシテ始メ
旧慣ヲ破リ(1)主トシテ(2)府県郡区町村ニ分テ知事郡区
町戸長ヲ置キ(3)明治十三年町村会法及県会規則ヲ定メ(3)
廿一年主トシテ(4)就中普制ニナライ市制町村制ヲ定メ(4)廿三
年郡制府県制ヲ發シ(5)三十二年後者ヲ改正シ自治制稍緒ニ
就ケリ

自治ノ觀念ハ学说未ク一ニ歸セザル所ナリ
Quintessenceノ定義ニヨルハ自治ハ地方ノ租税ニヨリ費用ヲ支弁シ國

名譽職
ヨリ行政
行フモノト
スル説

法律ニ從ヒ名譽職ニヨリテ行フ郡市町村ノ行政ナリ
此定義中ニ學者ノヲシ尤重ク置クハ名譽職ニヨリ行政ヲ行フ真
ナリ故テ學者ハ之ニヨリ自治ノ觀念ヲ定メントセリ (D. Plattner)

是自治ノ精神ハ行政ヲ專務トセス自ラ被治者ノ地位ニ立ツモノ
ヲレテ行政ヲ行ハレムルニテハナリ
Klein, J. Maybauer, J. Schmuck (等)

美國ニ於テハ此思想ニ本ク制ハ皆之ヲ自治ト称スルハ前ニ述べシ所ナ
リ、獨乙公法學者ハ往々自治改治 *Self Government* ヨリ自
治行政ヲ區別シ之ヲ自治ト称スルアリ

此ノ意義ニ於テハ自治ハ名譽職ニヨリ行フ行政ナリ
和市町村制ノ理由各本之ニヨレルカ如シ
上述ノ如ク自治ヲ解スレハ自治ニハ主権ナキモノナリ要スルニ自治

ハ人ト人トノ間ニ存スル法律上ノ關係ヲ称スル辞ニアラス其觀念
ハ法学上ノ觀念ニアラス故ニ現ニ學者中往々自治ハ行政上ノ制
ニテ行政法上ノ觀念ニアラサルヲ認ムルモノアリ (Schubert, B. v. v.)

行政法上ノ
觀念

二、行政法
上、看
念

(1) 自治ハ自
ラレノ
ヲ行フモ
ナリ

(2) 自治ハ公
共事務
ニ于テ

(3) 自治ハ主
体ハ公共
団体ナリ

自治ノ政治ノ意味ノ外行政法上ノ意味ヲ求メントセハ重ク必
戦ニ至クモ止ル可ラス抑自治トハ已レノヲ行フニアリ、此ノ如ク広ク
解スルハ各私人私ノ事ヲ行フモ亦自治ト称スレドモ然レドモ然
レ此ノ如ク自治ヲ解サハ國家ノ行政ヲ縮少シ可及的私人ノ自由
ニ放任スルヲ尤自治ヲ拡張セルモノナリト稱スレドモ自治ハ行政ヲ行フ
方法ニアラス之ヲ廢スルモノトナルニシ、然レモ自治ハ行政ヲ行フ一
法ナリ私人私事ヲ行フノ意ニアラス、公共事務ヲ行フノ意ナリ
自治ハ公共事務ヲ自ラ行フノ意ナレハ自治ノ主体ハ公共事務ヲ自
己ノ事務トセルモノナルヲ要ス、官吏國家ノ事務ヲ行フハ公共事務
ヲ行フナレハ自己ノ事務ヲ行フニアラス、私人私事ヲ行フハ自己ノ事務
ヲ行フナレハ公共事務ヲ行フニアラス、今日ニ於テハ公共事務ハ私人ノ利益
ノ範圍外ニ屬スルモノト認メラレクモレハ(例外)私人ノ概
自治ノ主体タル可ラス
反之公共団体ハ國家ノ事務ノ一部ヲ生存ノ目的トセルモノナリ、公共団

(4) 自治ハ公
家ノ法規
ノ範圍内
ニ行ハル

(5) 自治ハ公
家ノ監督
格下
ニ行ハル

体カ生存ノ目的タル公共事務ヲ行フハ國家ノ事務ヲ行フモノニシ
テ全時ニ自己ノ事務ヲ行フモノナリ
自治權ノ主体ハ公共団体ナレハ之ヲシテ全獨立キレハ國家ノ
統一保ツ可ラス
故ニ國家ハ法規ニヨリ公共団体ノ事務ノ範圍ヲ限リ得ルヲ要ス然レモ
法規ノ範圍内ニ於テ公共事務ヲ所理スルハ団体ノ權利ナリ國家モ
法ニヨルノ外之ヲ犯スラ得ス又団体法規ノ範圍内ニ公共事務ヲ行
フニ當テモ國家ハ常ニ之ヲ監督スルヲ要ス然レモ國家ノ監督權
無限ナルハ公共団体ハ獨立ヲ失ヒ國家自地方行政ヲ行フト全
果ニ歸ス故ニ國家ノ監督權亦法規ニヨリ範圍ヲ限ルヲ要ス國家
ハ之ヲ越エテ監督權ヲ行フヲ得ス
監督權ノ範圍ニ至テハ広狭一ナラス法規ノ定ムル所ニヨルニシ、然レモ広
キニ又ハ狭キニ過クルハ或ハ自治ノ実ヲ失ヒ或ハ國家ノ統一ヲ失フニ
至ル蓋監督權狭キニ過キ公共団体權限ヲ越ヘ法規ヲ犯スヲアルモ
之ヲ強制スル途ナキハ國家ハ統一ヲ保ツヘカラス又一方ニ於テハ監督

行又去九節

集權一分權

Decentralization 集權ニ対ス集權ハ勢力一中心ニ

権広キニスギ監督官廳案ノ權ヲ收メ自由ニ指揮命令スルハ公
共団体ハ自治ノ実ヲ失フ此ニ極端内ニ於テハ監督權ハ或ハ広ク或ハ
狭キトアリ然レハ近時ノ立法ノ趨勢ヲ考フルニ此權ハ公益ノ認定ハ
団体ニ委ヌ(普ノ後ノ法規)一面ニ後見的思想ヲ脱却スルト共ニ
面ニ遠法越權ノ場合ニ限り國家ノ干渉ヲ容ルノ方向ニ歸スルカ
如シ
要之行政法上ノ意義ニ於テハ自治トハ(1)法規カ団体ノ意思ノ独
立ヲ廢セサル限ニ於テ定ム監督ノ方法ニヨルノ外國家ノ干渉ヲ受
ケス(2)公共団体カ(3)自己ノ生存ノ目的ヲ公共事務ヲ(4)法規ニ
從ヒ(5)自己ノ機ヲニヨリテ行フ意ナリ
自治ノ觀念ハ之ヲ分權ノ觀念ト混全スヘカラス、學者或ハ自治
ノ觀念ヲ定ムルニ分權ヲニ重ヲ置ケルモノアリ自治ハ或程度ノ分
權ナクシテ存在シ得ラレサルモ分權アルハ必自治アリトスヘカラス
二者全觀念ニアラス

分權

集權ノ狀態ヲ云ヒ、分權ハ之ノ勢力カ數局部ニ分ル、狀態ヲ云フ
集權及分權ノ辭ハ國家ノ政治上ノ干係ノミナラス往々社会上ノ
干係ニモ用ヒラル

國家ノ政治ニ付テ云ハ集權ハ政治全ク中央機ヲニ委ル又ハ地方
機ヲ用ユルモ全ク中央機ヲニ隸屬スル有様ヲ云ヒ反對ノ有様ヲ
分權ト云フ、此區別ハ國家ノ政務全國確一ナリヤ否ノ區別ニアラス
分權ニヨリ行フ政務ハ確一ナラサルヲ例トスレバ集權ノ政必スレモ
確一ナラス集權ノ極端ハ地方行政機ヲノ組織モナク政務皆中央
機ヲヨリ出ルニアレバ此ノ如キ組織大國ニアリ得サル明ナリ

分權ノ極端ハ各地方獨立ニ政務ヲ行ヒ中央機干ノ干渉ヲ受ケ
サルニアレバ國家此ノ如キ狀態ニ陥ラハ國家ノ實ヲシ(1870以前ノ独
乙)故ニ純然ノ集權ト純然ノ分權ハ共ニ今日ノ國家ニ行ハルヘカラ
ス分權ト云ヒ集權ト云フ必竟程度ノ差ニ過キス

分權ノ實
行方法

分權ノ主義ヲ實行スルニハ(1)地方機ヲノ任命ニヨリタルモノヲ撰舉
ニヨルトスル(2)組織ニヨルトモアリ(3)地方機ヲノ對スルノ認可ヲ要セサ

干支去凡命

集権ノ利害

ルトスル件(中央機干ニ対スル関係ニヨリモアリ)(3)権限ノ分配ニヨリ
モアリ権限ノ分配ニヨリハ林ニテ(4)Governor's Discretionト云フ
集権ハ政治ノ一致ヲ保チ確一公平ノ政ヲ行フニ適當ナル政ナレ地
方ニヨリ其情ヲ異ニスルキ甚ニ件チハ適宜ナラハ不利アリ
又被治者ニ直接スル官廳ハ一々指揮ヲ中央機干ニ抑クヘキニヨリ
自ラ其務ノ停滯ヲ来ス且全國確一ノ政ヲ布ク件ハ政務自形式ニ
流ル弊アリ且國力一矣ニ集ルニヨリ一ツビ中興ニ變動アル件ハ
直ニ全國ニ影響シ國家ハ常ニ不安全ノ地位ニ立タスハアラス之
等ハ集権ヨリ生スル不利ナリ故ニ外交軍政司法ノ如キ甚重大
ニ全國ノ利害ニ干係ヲ有シ且全國確一ノ政ヲ施スヘキモノハ主ト
シテ集権ノ主義ニヨル地方ノ利益ニ主トシテ干係アル事項ハ分
権ノ主義ニヨルハ近來ノ傾向ナリ要スルニ分権ハ政治上ノ一主
義ニシテ行政法上ノ觀念ニアラス

第二章 自治事務

自治ノ事務ハ國家ノ事務タルノ前述べ如シ、然レ氏之ヲ(1)独立

固有事務
委任事務
委任事務

委任事務又ハ固有事務(2)委任事務ノ二種ニ區別スルノアリ此區別ハ
仙革命時代ノ思想ニ基ク、人權宣言ニ國家ト私人トノ間ニ限界ヲ
定メ私人ニ屬セル固有ノ犯ス可ラサル權利ヲ保障セルニヨリ地方自
治體ノ獨立委任事務ト委任事務トノ區別モ全思想ヨリ生テテリ私
人天赋ノ權利アルト全シク地方團體ニモ國家ノ委任ヲ待タスレテ
固有ノ權利ヲ有セサルヘカラス由リテ固有委任事務ト委任事務ノ
別ヲ生セリ

此思想ハ革命ノ半ニ至リ一變シ極端ナル集権主義ニ基ク地
方制度ヲ生セシム及テ白耳義憲法及獨乙ノ李說トニヨリ獨乙
諸國及ヒ壞ノ地方制度ニ大影響ヲ及シ之等諸國ノ制度ヲレテ
固有及ヒ委任事務ノ別ヲ認メシメタリ、然レ氏固有委任事務ハ團體
ノ事務ニシテ國家ノ事務ニアラス、委任事務ハ國家ノ事務ニシテ團
體ノ事務ニアラスト解スルハ誤レリ故ニ近來ノ學者モ別ヲ認メサル
モノアリ、自治體ノ事務ハ皆國家ノ事務ナリ、國家ノ事務ハ又之ヲ
團體ニ委任スルハ即團體ノ事務ナリ

行政法凡論

委任ニ
方法

九 國家ノ支務ヲ委任スル方法ニアリ

(1) 一ハ之ヲ団体具自身ニ委任スルモノナリ、此場合ニハ委任支務ヲ所理スル概テハ団体ノ組織ヲ定ムル法規ニヨリ団体ノ支務ヲ処理スル権限ヲ有スル概テナリ

(2) 國家ハ又団体ノ概テ指定シテ之ニ國家ノ支務ヲ委任スルナリ、此場合ニハ指定セラレタル概テハ団体ノ概テトシテ団体ノ支務ヲ処理スルニアラス國家ノ概テトシテ國家ノ支務ヲ所理スルナリ

前ノ場合ニ於テハ委任支務モ固有支務ト全シク団体ノ支務ナリ固有支務モ全シク國家ノ委任ニヨリテ団体ノ支務トナルナリ

社会進化ノ順序ヨリ論スルハ家族アリテ後町村アリテ後國家アリテ町村ハ國家ノ成立スル以前ニ成立スル以上ハ其支務ハ皆國家ノ委任ニヨルモノナリト云フヲ得サルカ如キモ抑市町村ハ國家ノ一部ナリ一部ハ全部ナクシテ存在スルナリ全部ハ一部ナクシテ存在スルヲ得ス、故ニ町村ハ國家成立以前ニ存在セルモ國家成立以前ニ存在セル町村ハ國家成立ノ一部ナル町村トハ全ク性質ヲ異ニスルト認メサ

ル可ラス、又昔ノ國家ハ國家ノ目的ヲ狭ク解シ主トシテ司法ニ限リシヲ以テ地方団体ノ支務ハ概テ國家ノ支務ニアラスシテ固有ノモノナリト認メシヤモ知ラサレバ國家ニ于スル思想一変シ地方団体ハ之ヲ國家ノ組織ノ一部ト見ナシ其支務ハ団体國家ニ対シ執行セサル可ラサル支務ト認メラルハニ至テハ國家ノ支務ナラサル団体ノ支務ハ此時ヲ以テ消滅セルモノト認メスハアラス殊ニ市町村ハ暫ク置キ上級ノ地方団体ハ概テ法律ニヨリ新ニ設ケルモノナルノミナラス我國ニ於テハ市町村亦法律ニヨリ組織セラレタルモノナレハ國家ノ委任ニヨルニ非レハ殆ヨリ固有支務ナルモノ、存スヘキ理ナシ

固有支務
委任支務
トノ別

此ノ如ク論来レハ固有支務ト委任支務トノ別ハ國家ニヨリ委任セラレタルト然ラサルトノ別ニアラス全シク國家ヨリ委任セラレタル支務中委任ノ方法ヲ異ニスルヨリ生セル區別ト認メサル可ラス

公共団体ヲ新設シ又ハ現存ノ公共団体ヲ認ムルハ全時ニ一定範圍ノ支務ヲ之ニ委任セサル可ラス然ラサレハ公共団体ハ生存ノ目的ヲ有セサルトナル此ノ如ク公共団体ノ存在スルト全時ニ存在スル

行政法

般ノ委任ハ之ヲ其団体ノ固有支務トス、一般委任外ニ於テ特ニ支
項ヲ限リ委任セシ支務ハ即委任支務ナリ

市町村制ハ市町村ハ其公共支務ヲ自ラ所理スルヲ定ム是即
市町村ノ固有支務ナリ

其他國家ノ支務ヲ委任スルニ當リテハ市町村制ハ之ヲ団体ニ委
任スルナク特定械ヲニ委任スル制ヲ採ルルカ如シ(市制ニ及ビ町
村制ニ及ビ)

改正府県制郡制ハ府県郡固有支務ノ外府県ハ法律敕令ニヨ
リ委任セラレタル支務ヲ所理スルヲ規定ス

市町村其他公共団体ノ固有支務ハ正確ニ其範圍ヲ定ムルヲ難シ
公共団体ノ事務ハ國家ノ支務ナルヲ以テ其範圍ハ國家ノ支務ノ範
圍ヲ以テ限ラレザル可ラス

而シテ此範圍ニ於テ如何ナル支務ハ國家直接ニ之ヲ所理スルカ如何ナ
ル支務ハ市町村其他ノ団体ヲシテ之ヲ所理セシムルカヲ定ムルハ頗難シ
ハセシハ墾國市町村制ハ今ニ規定シ市町村ノ獨立支務ハ凡テ市町村

固有支務ノ範圍

固有支務ノ範圍

積極ノ範圍

積極ノ範圍

固有支務ノ要件

ノ利益ニ主トシテ關係シ其區域内ニ於テ自己ノ資力ニヨリテ所理ス
ルヲ得ル一切ノ支件ヲ包含ストセリ係シ委任支務亦公共団体ノ
支務ニシテ其目的ノ一部ヲナスモノナレハ之ヲ市町村ノ利益ニ干係ア
ルモノト認メスハアラス故ニ市町村ノ利益ニ關スルト否ニヨリテ固有ト
委任支務トシテ分ツ可カラス、固有支務ハ市町村ノ利益ニ主トシテ關
係スルモノニアラスレテ市町村ノ住民ノ利益ニ主トシテ干係スルモノナリ
上述ノ論ニヨリ市町村ノ固有支務ハ次ノ要件ヲ具ヘサルヘカラス
(1) 主トシテ市町村ノ住民ノ利益ニ干係スル
如何ナル支務カ主トシテ市町村ノ住民ノ利益ニ干係スルヤ如何ナル支
務カ全般ノ利益ニ關スルヤ一概ニ論断スヘカラス時ノ思想ニヨリ異ル
アルナリ

例ハ外交及國家財政ノ支務ハ全國家ニ屬シ軍吏行政概亦國家
ニ屬ス司法モ昔ハ其一部ヲ市町村ノ法律支務ト認メレトアレ氏今
日ハ國家ノ直接ノ政務ナル疑ヲ容レス市町村ノ住民ノ利益ニ主
トシテ干係スルモノハ内務行政ノ區域ニアリ而シテ内務行政中警

行政去凡論

警察支務ニ于テハ國ノ制度ニヨリ地方警察ヲ以テ市町村ノ固有支務ト認ムルモノアレバ我國ノ市制町村制ハ之ヲ國ノ行政ト認ムル方針ヲ採リ故ニ市町村ノ固有支務ハ全ク助長ノ支務ニシテ特ニ市町村住民ノ精神上身体上經濟上ノ利益ヲ増進スルヲ目的トス係シ市町村此目的ノ為成立スルハ其成立ノ為必要ナル組織ト其力トヲ有マサル一カラス、故ニ市町村ノ組織ニ于テハ支務及市町村ノ賦務モ亦其固有支務ナリ

(2) 市町村ノ区域内ニ於テ執行シ得ルハ
 市町村ハ國家ノ機關ニシテ一定權限ヲ有ス其權限ハ支務ノ性質ト管轄區域トニヨリ限リ、故ニ其支務ハ市町村ノ区域内ニ於テ行ヒ得ル(キモノナルヲ要ス然レモ賦產權ノ主体トシテハ一人ト全地位ニ立ツニヨリ活動ハ區域ニヨリ限ラサル言フマタス

(3) 市町村ノ資力ヲ以テ行ヒ得ルハ
 人民ノ利益ヲ増進スルハ先之ヲ人民各自ノナス所ニ任シ各個人ノ力足ラサル片始メテ團體ノ力ヲ用ヒ下級團體ノ力足ラサレハ上級ノモノ、

特別ノ目的ノ為組織セラレタル公共團體ノ支務ノ範圍

II、隨意支務ノ必要

カヲ用ヒ終ニ國家ノ力ヲ用ユルニ至ルハ近時行政ノ主義ナリ、故ニ市町村ノ力ヲ以テ執行シ得ル(キモノハ上級團體ノ支務トセス又上級團體ノ力ヲ以テセサレハ執行シ得サルモノハ市町村ノ支務トセス然レモ特別ノ場合ニ於テ市町村ノ力足ラサル為國家又ハ上級團體ノ補助ヲ仰クハ市町村ノ固有支務タルニ害ナシ

市町村固有支務ノ範圍ニ付テ述ベシハ一般ノ行政ヲ目的トスル地方團體(普通地方團體)ニ適用シ得ルシ然レモ特別ノ目的ノ為組織セラレタル公共團體ノ支務ノ範圍ハ此ノ如ク一般ニ論ス可ラス各種團體ニ付別ニ定ムル外ナシ

固有支務ト委任支務トノ區別ノ外公共團體ノ支務ハ往々隨意支務ノ必要支務ニ區別スルヲアリ然レモ必要支務ハ團體之ヲ執行スル支務アルモノニシテ隨意支務ハ之ヲ執行スル權利アリテ支務ナキモノナリト解スルハ誤リリ (Korring)

公共團體ノ支務ハ團體國家ニ對シ執行スル支務アルトハ已ニ述ヘタリ故ニ苟モ公益ニ必要ナルハ團體ハ執行スル支務アリ必要ナラサレ

ハ公ノ費用ヲ徴収シ之ヲ執行スルヲ得ス
此莫ヨリ論セハ如何ナル義務モ必要義務ナリ故ニ隨意義務ハ必要
ナキ義務ニアラスレテ公共団体自ラ必要ノ有無ヲ認ムル權ヲ有ス
ル義務ナリ

必要義務ハ及之必要法律命令ニヨリ定マリ公共団体自必要ノ
有無ヲ認定スル余地ナシ是レ二者區別ノ存スル所ナリ
法令必要義務ノ必要ヲ定ムル程度ハ義務ノ種類ニヨリ異レリ單ニ
義務ノ必要ヲ定メ程度執行方法ハ団体ノ自定ムルニ任スルアリ又
程度及執行方法ヲモ決定ムルヲモアリ

国有義務
委任義務
ノ區別ノ
干係

別ト一致スルニアラス固有義務ニ干レテモ法令ニヨリ必要ヲ規定スル
コトアリ

委任義務
モ法ハ必要ノ有無ヲ団体ノ認定ニ任スルヲ得ヤルコトナ
シ、然レモ委任義務ノ通常必要義務ナルハ自然ノ結果ナリ
公共団体ハ國家義務及委任義務必要義務及隨意義務ヲ行フ為

活動スルニハ或ハ法規ヲ定ムルコトアリ或ハ各何要件ニ付処置ヲナス
コトアリ

國家ノ行為ニ(1)立法及(2)行政行為ノ別アルト全シク公共団体ノ行
為ニモ亦此區別アリ

Autonomy ト云フ、自主權ハ學

公共団体ノ立法權ハ之ヲ自主權
者或ハ自治立法ト稱シ之ヲ自治ヨリ區別スルアレモ自治ハ元団体自
ラ其義務ヲ行フ意ニシテ自主權ハ団体義務ヲ行フ手段ナレハ
自主權ニ本ク行為モ行政行為モ等レク自治ニ屬ス

自主權ニ關シテハ郡制府県制ニ明文ナシ市町村制ニ明文アルニ
市町村制ハ條例ト規則ヲ區別セリ

條例

條例ハ市町村住民ノ權利義務ニ干スル規定ナリ之ヲ發スルニハ市制

規則

規則ハ營造物ニ關シテ設ケルモノナリ營造物ヲ使用スルハ特別ノ義

務ヲ負擔ス之ニ基キ服従スルキ規定即規則ナリ
此ノ如ク條例ハ直接ニ住民ノ服従義務ヲ根柢トシ規則ハ營造物

イニシテ

使用ニヨリ生スル特別ノ義務ヲ基礎トシテ其決定ノ手續モ条例ニ比
シテ簡ナリ(条例ハ内務大臣ノ許可ヲ要ス規則ハ府県知事ノ許可ニテ
可ナリ)

沖繩県ノ区制及北海道ノ区制町村制ハ此區別ヲ変更シ二者ノ差ヲ
許可ノ手續ヲ異ニスルニアリトス、故ニ住民ノ義務ニ關スル規定亦規則
ヲ以テテシ得共果シテ立法上ノ進歩トスヘキハ問題頗疑アリ

条例規則
ノ性質及
其結果

条例規則ハ市町村ノ意思表示ナリ此意ヨリ是ノ結果ヲ生ス
(1) 仮令勅裁ヲ經ルモ条例ハ敕令ニテ入内務大臣ノ認可(許可ノ意ナル
ニシ)ヲ經ルモ省令ニテアラズ勅令及許可ハ市町村ノ意思ニ効力ヲ與フル
ニ過キス

(2) 國家ノ直接意思ハ讓ルヲ要ス故ニ勅裁ヲ經ルモ条例モ法律ハ勿
論命令ニモ抵触スヘカラス

(3) 条例規則ハ市町村ノ意思表示ナリハ表示ヲ要ス市制町村制ハ地方
慣行ノ公告式ニヨリ發行ス

(4) 官廳ノ権限内ニ於テハ命令ハ官廳廢止セラハルモ消滅セザルハ嘗

テ説ケリ及之市町村消滅マハ条例規則共ニ消滅ス

第三章 自治ノ主体殊ニ地方自治体

成立ノ態
様ニヨリ
別

自治ノ主体ノ公共団体ナルハ屢説ケリ
公共団体ハ國家ノ機關ナルハ國家ハ加入者ノ任意ニ組織シ任意ニ
加入スル團結ヲ自己ノ機關トナスヲ得之等ノ團結ハ組織ノ義務ナリ
加入ノ義務ナキモ一旦設立セラル以上ハ已ニ國家ノ機關ナルハ國家ニ対シ自

II、多数者
ノ任意ニ
設立セシ
タル公共
団体

己ノ目的タル事業ヲ行フ義務ヲ有シ隨意ニ解散スルヲ得ス
公共団体ハ又關係者ノ任意ニ非ルモ其多数ノ公意ヲ得ル程ニ目的
タル事業ノ必要明ナルニ於テ始テ設立及加入ノ義務アルモノアリ
此場合ニ於テモ一旦設立セラル以上ハ多数者ノ意思ヲ以テスルモ國家ノ許

III、強制的
團結ヲ
レタル公共
団体

可ナク之ヲ解クヘカラス普通水利組合ハ此種類ノ一例ナリ
然レモ國家ノ莫分ノ必要一般ニ且緊急ナルモノニ於テハ設立ヲ干
係者ノ全体又ハ其多数者ノ自由ニ放任スヘカラス

IV、強制的
團結ヲ
無ニヨリ
區別

故ニ公共団体ハ強制的團結ノ性質ヲ有スルモノ多シ是等ノ公共
団体ハ更ニ別テ地方団体ト公共組合ノ二種トス

行又去凡論

ノ公共組
合、地方
又、地方
団体

地方団体トハ一定ノ領土ヲ有マサル公共団体即公共組合ニ対スル
名称ニシテ國家ノ領土ノ一部ヲ以テ其境域トマルモノヲ云フ

(Gemeinde, Genossenschaft)

領土ノ性
質

領土ノ性質ハ國法学者ノ説分レタルモ余ノ採レルモノニヨレハ統治
ノ客體ニアラスシテ統治權ノ及フヘキ範圍ナリ

地方団体ノ境域ハ即住民籍ノ有無ニ于セス權力私人ニ及フヘキ
区域ナリ故ニ地方団体ノ住民ニアラサルモ区域内ニ滞在シ又ハ一定ノ行
為ヲナスモノ、如キハ皆団体ノ權力ニ服従スルヲ要ス、此ノ如ク地方団
體ノ境域ノ性質ヲ解サハ水害預防組合ノ如キハ強制ノ團結ニシ
テ組合員ハ一定区域内ニ屬スルモノニ限レバ境域ヲ有スルモノニアラス
其權力ハ組合員タル土地家屋ノ所有者ニ及フニ止リ其他ニ及ハス唯非
常出水ノ場合ニ限り一般人民ニ及フ特例ナルノニ故ニ地方団体ト稱ス
可カラズ

特別地方
団体ト稱
スルヲ目的
トスルモノ
モアリ是等
ノ地方団体
ハ上述ノ如
クハ範圍ノ
固有

地方団体ハ或ハ全一区域内ニ於ケル公共ノ生存ニ伴フ一般ノ利益ヲ増進
スルヲ目的トスルモノモアリ是等ノ地方団体ハ上述ノ如クハ範圍ノ固有

支務ヲ有スルモノナリ余ハ之ヲ普通地方団体ト稱ス

此他ニ特別ノ目的ノ為存在スル特別地方団体アリ(学校組合)

普通地方団体ハ我邦ニテハ市町村郡府県ナリ

市町村ハ最下級ノ地方団体ニシテ自治權ハ及テ尤広キモノナリ最下

級自治體ハ各國ニ其發達尤早ク團結尤固キヲ例トス且上級自治

ニ至テハ支務ハ國家ノ全體ニ關係ヲ及ス深且広ナルハ國家自治

郡府県

ヲ獎フルニ各ナルハ何レノ邦ニテモ行ハル所ナリ我邦ニテモ郡及府県

ハ自治ノ範圍市町村ヨリ狭シ郡及府県ハ市町村ト全シテ特別ノ議

決権ヲ有シ其議決ニ對シテハ國家ハ單ニ法規ノ範圍内ニ監督ヲ

行フニ止マリ之ニ對シ指揮命令ノ權ヲ有セサレバ郡及府県ハ市町

村ノ如ク特別ノ執行機ヲ有セス國家ノ官廳タル郡長及府県知

事ハ兼テ其行政ヲ担任ス而シテ郡府県ノ行政モ國ノ行政ト全シテ

上級官廳ハ郡長府県知事ニ指揮命令レ得

(区)

府県郡市町村外ニ府県内ニ区アリ区ハ一三外國ニテハ單ニ私法
上ノ法人ト認ムルニ止ラス一部ノ公共支務ヲ其支務トス

行政去凡命

(1) *Wardship* (市町村制)

地方警察吏務ノ如キモ其固有吏務ト認メ或ハ其委任吏務ト認ムルアリ然レモ多数國ハ区ヲ特別ノ公共団体ト認メス

(1) 諸種ノ費用ハ往々全市町村ニ負担セシムル利益ヲ受クル部分ヲシテ負担セシムルアリ然レモ單ニ住所ニヨリ納稅義務ヲ負ヒスルニ止リ為ニ市町村ノ一部独立人格ヲ得ルナシ

(2) 然レモ市町村ノ一部ハ往々独立ニ賤産ヲ有スルアリ殊ニ町村ヲ合併シ賤産ノ所分ニ付調整ハサルハ例ヲシ(墾)

此ノ如キ場合ニハ市町村ノ一部ヲ私法上ノ法人ト認メタルモノアリ是等ノ区域全時ニ市町村内ノ行政区畫ト一致スルアハモ区ハ公共団体ノ性質ヲ有スルナシ

我市制町村制亦此主義ヲトレルカ如シ

(組合)

町村ハ往々吏務ヲ共全ニ所係スル為組合ヲ設クルナリ(普ハ市ト町村ノ組合ヲモ許セリ)
組合ハ邦ニヨリ独立ノ人格ヲ得タルモノアリ(仏ノ法律)

普ハモ之ノ法律ハ組合ノ願ニヨリ人格ヲ与フルヲ許セリ

改正ノ郡制ハ郡組合ヲ設クルヲ許シ組合ハ之ヲ法人ト認メ然レモ数多ノ邦ニテハ組合ハ單ニ団体各自ノ吏務ヲ共全所係スル為設ケシ組織ニシテ組合ノ吏務即各団体ノ吏務ニシテ其機于ハ各団体共全ノ機于ナリ

組合ノ機關ノ行フ権力ハ各団体ノ権力ニシテ負担スル吏務ハ各団体ノ義務ナリ我改正郡制ハ組合ノ人格ヲ認ムルニ及シ市制町村制ハ組合ノ性質ニ付明ナル規定ヲ設ケス一ノ疑問ナレモ实例ハ町村組合ヲ法人ト認ムル莫ニ一致ス

第四章

地方団体ノ榮生及消滅

地方団体
ヲ榮生消
滅セシム
ル行為

地方団体ハ國家ノ機于ニシテ國家ノ委任ニヨリ其吏務ノ一部ヲ行フモノナリ故ニ地方団体ノ榮生スルハ必ス國家ノ行為ニヨル、其行為ノ一ハ法規ニヨリ自治体ヲ認ムルナリ、自治体ハ法規ニヨリ並ニ榮生スルナリ又ハ法規ノ外ニ特別ノ行政行為ヲ要スルナリモアリ我邦ノ地方団体ハ概從前ノ行政区畫ニヨリ法規ヲ以テ之ノ人格

行政區劃

市町村ノ
發生消滅

市町村名
稱ノ變
更

ヲ認メタル結果ナレバ今後地方団体ノ發生スルニハ法規外ニ特別ノ行為ヲ要ス、此行為ハ本邦行政行為ノ性質ヲ有スルニヨリ法律ヲ要セサル理ナレバ歐列諸國ハ団体ノ独立ヲ保障スル為最下級ノ自治体ニ至ル迄往々(1)發生消滅ニ法律ヲ要ストセハアリ又(2)子係団体ニ異議アル場合ニ法律ヲ要ストセハアリ

我國ニ於テハ市町村ニ于シテハ法律ヲ要セサレバ法ハ市町村ヲ單純ノ行政区畫トセステ公法上ノ団体ト認メタレハ其存立ヲ保障スル為關係団体ノ意見並ニ上級自治体ノ合議体ノ意見ヲキクヲ要ストセリ、若其異議アルハ法律上ノ負擔力ナキカ又ハ公益上必要ナル場合ノ外之ヲ行フヲ得ス又此所分ヲ行フニハ府県發見會議決ニ内務大臣ノ許可ヲ要ス

市ヲ變シ町村トシ町村ヲ市トナス場合ニ于レテハ市制町村制ニハ別ニ規定ナシ

反之市町村ノ名稱ノ變更ニハ明23.法ヲニヨリ市町村ノ發生消滅ト全一手段統ニヨル

郡府県ノ
發生消滅

郡及府県ハ市町村ト異リ發生消滅ニ係ラズ大ナレハ皆法律ヲ要ス

町村ハ共全業務ノ為組合ヲ設テ得ルノ前ニ述ベタリ組合ハ通常(1)町村ノ協議ト(2)監督官廳ノ許可ニヨリ生シ其組織ハ規約ニヨリ定マル唯町村ニ莫カク而モ合弁スル克ハサレハ郡發見會議決ニヨリ之ヲ設ク

組合ノ組織ヲ定ムル規約ハ契約ノ性質ヲ有スルノ事如ク決定ノ性質ヲ有ス独當時者間ノ權義ノ關係ヲ生スルノミナラス一種ノ法規ヲ生ス

I、境域ノ
性質

第二章 地方団体ノ組織

地方団体ノ組織

地方団体ハ國家ト全シク一定境域ヲ有ス

地方団体ノ境域ハ國家ノ領土ト性質ヲ全クス國家ハ領土ニ對シ所有權ヲ有ス又公法上ノ物權ヲ有セサルト全ク地方団体モ境域ニ對シ所有權又ハ公法上ノ物權ヲ有セス

団体ノ境域ハ權利ノ客體ニアラス權力ノ行ハルハ範圍限界ナリ

境域ノ積極ノ衝突

境域ノ消極ノ衝突

唯國家ノ領土ハ國際法上ノ關係ニ於テハ權利ノ目的物ニシテ國家ノ領土ニ于テテ物權ニ類スル權利ヲ有スルト全シク地方団体亦他ノ地方団体ニ對スル干係ニ於テハ境域ニ對シ權利ヲ有ス從テ団体ト団体トノ間ニ境域ニ關スル權利ノ爭ヲ生スルコトアリ此爭論ハ市ニ關シテハ府県參事會町村ニ郡參事會之ヲ決ス

歐洲諸國ニテハ其昔地方団体ノ境域ニ關スル明ナル思想ナク殊ニ市町村ニテハ其共有地及住民ノ私有地ト其境域トヲ混全セシカハ無人ノ地未墾地ハ往々何レノ市町村ニモ屬セストセリ

今日ニ至テハ各國原則トシテハ國家ノ領土ハ皆何レカノ市町村ニ屬スヘキヲ認メタルモ獨逸ノ諸邦ニハ往々例外ヲ設ケ無人ノ地皇居離宮ノ敷地等ヲ以テ市町村ノ境域外ニ置テハモノ少カラス是旧思想ノ痕跡ナルニシ

國家ノ領土ニシテ市町村ニ屬セサルナシトノ原則ヲ尤ヨク貫徹セルハ他國ノ制度ナリ、今日ニ於テハ地方団体ハ純然ノ行政區畫ナラサルモ國家ノ械子ニシテ其支務ハ即國家ノ支務ナラサルニシテ而シテ國家ノ領土

市町村境界ノ變更

ハ隻地ト雖モ國家ノ權力ノ及ハサルナケレハ地方団体ノ權限ニ屬スル事項ニ關シテハ何レカノ団体ノ區域ニ屬スヘキナリ故ニ地方団体ヲ廢シ又ハ其境域ヲ削ルハ必全時ニ之ヲ他ノ団体ノ境域ニ加フルカ又ハ新団体ヲ設クヘキナリ又一方ニ於テハ全一ノ土地ニシテ全時ニ全級ノ數団体ニ屬スヘキナリ

市町村ノ境界ヲ變更スルニハ廢地置ニ比シ手續ヲ簡ニシテ關係団体ノ議決ヲ經郡參事會又ハ府県參事會之ヲ議決ス

境界ノ變更トハ団体ノ存廢ニ干係ナキ場合ヲ云フ即ち是手續ノ簡ナル所以ナリ

郡府県境界ノ變更

郡及府県ノ境界ノ變更ハ下級団体ノ變更ノ結果ニヨリ自ラ變更スル場合ヲ除外發消滅ト全シク法律ヲ要ス

國家ハ領土ト人民トヲ以テ組織セル如ク地方団体又領土ト住民ヨリナル郡府県ノ住民ニ付テハ法ハ別ニ規定ヲ設ケス之ヲ設ケタルハ市町村制ノミナリ

何人ヲ市町村住民トスルカ

市町村所屬ノ人民ヲ定ムルニ二方法アリ(1)ハ市町村所屬人民ノ妻子

特ニ市町村公民タル権ヲ与ヘタルモノヲ以テ所屬住民トス此制ハ独
ノ二三邦 (*Prussia Baden Hessen* 等)ニ行ハル(2)尤広ク行ハル制
度市町村内ノ住居ニヨリテ当然住民権ヲ得ルトスルモノナリ (*Prussia*
*France*ニ *quintus*)

市制町村制亦此原則ヲトリ市町村内ニ住居ヲ定ムルモノハ皆市町
村住民トス

市町村住
民ノ權利
義務

市町村住民ノ資格ニ伴ハル権ハ(1)市町村公共ノ營造物ヲ使用シ
並ニ市町村有ノ財産中直接ニ住民ノ使用ニ供スルモノヲ共用スル
權利ナリ(2)其義務ハ市町村ノ負担ノ分任ニアリ

第六章

地方団体ノ概論ノ組織

概論

地方団体ノ概于ハ撰挙ニヨリ組織スルモノアリ又國家ノ任命ニヨルモノ
アリ其何レカ自治ノ性質ニ適セルカハ學說ノ分ル所ナリ

撰挙任
命何レカ
概于ノ

撰挙ニヨルハ各國皆然リ行政概于ノ組織即執行
概于ノ組織ニ至テハ國ニヨリ制度ヲ人ニヨリ説ヲ異セリ

撰挙任
命何レカ
概于ノ

學者或ハ任命ヲ以テ自治ノ性質ニ適マリトセルハ *Prussia*ニ於テ主ナルモ

撰挙任
命何レカ
概于ノ

ノトス *Prussia*ハ自治ノ精神ヲ以テ地方利益ヲ代表スルニアラス寧
之ヲ制限スルニアリトセリ又自治行政ノ目的ハ団体ノ行政ニアラス

撰挙任
命何レカ
概于ノ

國家ノ行政ナリトセリ故ニ任命ヲ以テ自治制ニ適セリトセル怪ヲ用ヒス

撰挙任
命何レカ
概于ノ

自由ニ自由ナル撰挙ハ自治体ノ自由ヲ表彰スルモノニシテ団体ニ
自由組織アリテ権限アルモノ撰挙ニシテ自由ナラサレハ自治体

撰挙任
命何レカ
概于ノ

タルノ本質ヲ失フナリト

撰挙任
命何レカ
概于ノ

*Prussia*ニ撰挙ニヨリ概于ヲ組織スルヲ以テ元団体ノ性質ニ適
合セルモノトセルモ必スシモ任命ヲ以テ自治体ノ性質ニ全及スルモノ

撰挙任
命何レカ
概于ノ

トセス他ニ団体ノ原素ヲ表スルニ足ルキ方法ヲ設ケタルハ自治
本質ニ害ナシトセリ殊ニ自治体ノ区域内ニ土地ヲ所有スルモノノ限

撰挙任
命何レカ
概于ノ

リ任命スル如キハ団体ノ原素ヲ表歎スル一良法トス是美ノ治安判
査制ノ自治制タル所以ナリ

撰挙任
命何レカ
概于ノ

此ノ如ク學說区々タルモ要スルニ撰挙ト任命ト何レヲ以テ団体概于
ヲ組織スル元則トスルカ如何ナル程度迄ニ主義ヲ奉行スルカハ國ノ吏

撰挙任
命何レカ
概于ノ

行政法凡論

撰挙任
命何レカ
概于ノ

行政法凡論

撰挙任
命何レカ
概于ノ

行政法凡論

撰挙任
命何レカ
概于ノ

行政法凡論

撰挙任
命何レカ
概于ノ

行政法凡論

撰挙任
命何レカ
概于ノ

行政法凡論

撰挙任
命何レカ
概于ノ

行政法凡論

情ト人民ノ程度ニヨリ長リ自治ノ觀念又ハ其性質ニヨリ一様ニ論スルカラス

現行制度

我制ハニ主義ノ中間ニアルカ如シ地方団体ハ独立法人タルモ又國家ノ組織ノ一部タルハ國家ハ場合ニヨリ其概テノ組織ニ于テスルハ及テ其地位ニ適セリト云フニ殊ニ地方団体ノ概テヲシテ全時ニ國ノ行政ヲ司ラシムルハ國家ハ全ク其組織ヲ団体ニ一任シ得ス而シテ國家之ニ干預スルハ下級団体ヨリ上級団体ニ上ルニ及ビ其度ヲ進ムルハ國家全体トノ利益關係漸大ナレハナリ

(町村)

町村長助役收入役ハ監督官廳ノ認可ヲ市長ハ市会ノ推薦セシ

(市)

三名中ニ裁可スルヲ要ス

(郡府県)

郡府県ニ至テハ別ニ執行概テヲ置カス國ノ概テ其行政ヲ行フ故ニ下級団体ニ於テハ主トシテ撰擧ニヨリ上級ニ至ルニ從ヒ漸任命ノ主義ニ傾ケリ其他概テノ組織団体ニヨリ長レハ言ヲ用ヒス殊ニ我國ハ他其他二三邦ノ如ク市ト町村ト畫一ノ制ヲ布カス大ニ之ヲ長ニセリ

(市町村ノ區別)

市ト町村トノ區別ニ付テハ國ニヨリ或ハ一定ノ人口ヲ有スルヲ直ニ市トス

(Hobbes, Bodin)

我國ハ此方法ニヨラス内務大臣ノ指定ニヨリ之ヲ定ム

町村トハ全制度ヲ全クシ名稱ノ差ニ過キス

地方団体ノ概テノ団体ノ種類ニヨリ組織ヲ異ニスルノミナラス又権限ヲ異ニス此異ニ付テハ一方ニ於テ市町村ト一方ニ於テ郡府県同如ク大差アリ

市町村ニ於テハ(1)其意思ヲ定ムル概テハ市町會ナリ、故ニ此者ハ外部ニ對シ市町村ヲ代表スル權アリ特別明文アル外住民其他ト交渉スルヲ得ス故ニ(2)其議決ハ内部ノ莫項ニ于スルカ又ハ特別ノ明文アル外市町村ノ行政概テ之ヲ執行スルヲ要ス然レモ市町村ノ意思ハ市町村會ノ議決ニヨリ定マリ行政概テハ其憲法越權又ハ公益ヲ害スル場合ニ執行ヲ停止シ監督ノ所分ヲ仰ク外ハ之ヲ執行スルヲ要ス

要スルニ市町村ノ權ハ市町村會之ヲ總攬ス從テ權限ハ広キ推定

郡府県ヲ受ク及之郡府県ニ於テハ(1)議會ハ一切ノ案件ニ付議決スル權ナク

干渉無命

干渉

干渉

干渉

権限ハ特ニ列挙セラレタルモノナリ其支項ハ主トシテ団体ノ経済ニ于
スルモノナリ(2)其他ノ支件ニ付テハ団体ノ意思ハ其行政機干タル郡
長知事ニヨリ定ムル故ニ郡府県ニテハ議會ノ権限ハ常ニ狭キ推

定ヲ受ケ郡長知事ノ権限ハ広キ推定ヲ受ク

カニ各論
市町村

市町村ノ執行機干ハ市町村ニテ組織ヲ具ミス即市ニ於テハ市参
事會トシ町村ハ独任制ノ町村長トス

市参事
町制

町村制ノ立法ノ精神ハ各各職ニヨリ支務ヲ担任セシムルニアリ故ニ執
行機干タル町村長ハ各各職トスルヲ元則トシ特別ノ場合ニヨリ条例

ヲ以テ有給取トス

市ニ至テハ支務ノ範圍之ヨリモ大ナレハ一人ノ各各職ヲシテ支務ヲ

担任セシムルハ頗難シトス

(市長)

故ニ日常ノ支務ヲ司ル市長ハ有給取トス然レ氏有給取ヲ以テ市
町村ノ執行機干トスルハ市町村制ノ精神ニ反スレハ市ニハ合議体

ノ市参事會ヲ以テ執行機干トシ主トシテ各各職ヲ以テ組織
トス

町村ノ
限

此ノ如ク市町村ノ行政機干ノ組織ノ具ルニ依リ権限ニモ長ルヲアリ
町村長ハ町村行政機干タルト共ニ國ノ行政機干ナリ、國府、府、縣、郡ノ
行政ニシテ町村ノ區域限行ヲ得ル或種ノ支務ヲ司レリ其尤主ナル

ハ地方警察 *Local Police* ノ支務ナリ、市参事會ハ及之國ノ行

市参事
市長ノ
限

政機干タルナレ市ニ於テ國ノ委任支務ヲ執行スル機干ハ市長ナ
リ市町村長ノ司ル國ノ行政支務中尤重要ナルハ地方警察支務

分ナリ然ルニ實際ニ於テハ市町村ノ機干ハ殆全警察支務ニ予

ラス、此ノ如ク規定ト実況ト相違ハ如キハ何故ナリヤ市制町村制

ハ別ニ官署ヲ設ケ地方警察支務ヲ司ラシムルハ市長村長ヲ

シテ之ニ干セシメトス然レ別ニ官署ヲ設トハ例ハ *Provision*

トシテ於テ果實司法裁判所所在地ニ於テ地方警察官廳ヲ設

クルカ如ク市町村ヲ區劃トシ此内ニ市町村長ノ外別ニ警察

官廳ヲ設ケタル場合ヲ云フナリ然ルニ現今警察支務ノ為ニハ

府県知事警察署長アルモ是等別ニ官署ヲ設ケタルモノニア

ラサルヲ以テ今日ニ於テモ市町村長ヲシテ地方警察支務ニ干セ

テ去ル

國ノ行政
概テトシ
市町村
長

市町村吏
吏ト區別
職務ニヨ
ラス

シムルハ法ノ妨ケサル所ナリ然レモ市町村長ハ当然之ヲ司ルニアラス
法令ノ委任ニヨリ始メテ之ヲ司ルナレハ此ノ如キ委任アル迄ハ市町
村長ハ地方警察ニ于テ予スルヲ得ス現今ニテモ往々衛生支務等
ニ于テ市町村長ニ地方警察ノ支務ヲ司ラシムルアルモ概シテ警
察支務ハ市町村ノ概テ于テ予セシメサル方針ナルカ如シ
市町村長ハ市町村ノ概テ于テ予セシメサル共ニ國及府縣郡ノ概テ于テ予セシ
メテ行政概テ于テ予セシメサルニ對スル關係ハ國家ノ官吏ノ之ニ對スル
モノト是ラス又一方ニ於テハ之等支務ニ付テハ市町村會ノ于テ
ヲ容レス唯國政支務ノ取扱ニ要スル支務費ハ市町村ノ負担ニ
屬シ從テ市町村會ノ淺決ヲ要スルノミ
市町村ニ市町村長ノ外諸種ノ官職アリ故ニ之ヲ充スルヲ要
ス之ヲ市町村吏ト云フ
其性質ハ要スル於テハ國家ノ官吏ト相全シ、市町村ハ國家組
織ノ一部ニシテ其吏員ハ間接ニ國家ノ支務ヲ司ルモノトシテ之ヲ
公吏ト稱シ又或ハ間接ノ官吏ト稱ス然レモ特別規定ナキ限ハ

公吏ト官
吏ト區別
職務ニヨ
ラス

任命ノ材
ニヨラス

其吏員ハ國家ノ官吏ニ非レハ官吏ノ關係スル規定ヲ之ニ及ボスヲ
得ス又第百一十號ハ明文ヲ以テ刑法中官吏ニ于スル條項ハ公吏
ニ適用ストセリ
何人カ官吏ニシテ何人カ市町村ノ吏員タルカノ區別ヲナスニハ其執
行職務ニヨリテ免ハス例ハ市町村長再認可セラレサル場合ニ派遺スル官
吏ハ市町村ノ支務ヲ司ルモノナレモ國家ノ官吏ナリ即市町村内ノ國
政支務ヲ司ル市町村長ハ勿論之ヲ分掌スル市町村會員助
役モ國家官吏タラス
又二者ノ區別任命ノ權ノミニヨリ得ス例ハ市長ノ任命ノ權ハ
國家ニアルモ市吏員タル明ナリ此ノ如ク市町村吏員ニシテ國家ノ
任命ニ係ルアルモ任命セラレタル吏員ト任命セル官廳トノ關係
ハ直接ノ隸屬ノ關係ニアラス任命ハ國家市町村ニ對スル監督權
ニヨリテ行フモノナレハ市町村ノ權限ヲ定ムル法規ノ範圍内ニ行フ
ヲ要ス若シテ出テ、任命ヲ行フハ法規ニ及スルノミナラス市町村ノ
權利ヲ犯シタルモノト云フヘシ

行政法

要之官吏ト市町村吏員ノ區別ハ國家ノ權于ノ任命ニ係ルト否ニヨ

リ之ヲ定ムヘカラス任命ノ權ノ本ク所ヲ講究スルヲ要ス

任命ハ國家ノ市町村ニ對スル監督權ニ本キ市町村ノ權限ヲ定ム

ル法規ニヨリ行ハレタルハ市町村吏員タルハ失ハズ

市町村吏員ノ公法上ノ于係ハ有給職ト名譽職トノ區別ニヨリ

異ルニ者ノ區別ハ給料ノ有無ニアリ名譽職ニテモ勤務ニ相當ス

ル報酬ヲ受クルコトアリ其額給料ニ等シキコトアルモ其目的ヲ異ニス

給料ハ官吏ノ俸給ト全シク吏員ノ地位ニ相當スル生活ヲ營ハル

ニシテ報酬ハ勤務ニ對シテ得ルモノナリ

市町村吏員ノ于係ヲ生スル方法ハ大畧五アリ

(1) 國家權于ノ任命ニ係ルモノ例市長

(2) 市町村會ノ撰擧ニ係リ監督官廳ノ認可ヲ要スルモノ町村長

市長町村助役等

(3) 市町村會ノ撰擧ニ係ルモノ、町村ノ委任市ノ委任等

(4) 市町村執行機干ノ撰任ニ係ルモノ、市ノ登記以下使了等

撰任ノ効力

(1) 市長ノ任命ニ係ルモノ、市參事會ヨリ出ツル委任
撰任ノ効力ハ名譽職ト有給職ノ區別ニヨリ異ル(1) 名譽職ハ就

撰任セラルル資格

職ノ義務アルモノナレハ撰任ハ被任者ノ承諾ヲ待タズ直ニ効力
ヲ生ス反之(2) 有給職ノ撰任ハ被任者ノ全意ヲ待チ殆ソテ効

力ヲ生ス

市町村吏員ニ撰任セラルル資格ニモ名譽職ト有給職トノ區別アリ

(1) 前者ハ公民ニシテ撰擧權アルモノニ限ル反之(2) 後者ハ公民

權ヲ有スルモノニ限ラス

然レモ有給職中主ナルモノ市長市助役有給ノ町村長等ハ就

職ニヨリ公民權ヲ得ルモノトス依リテ市町村吏員ニ三種ノ區別

ヲ生ス
一、ハ公民ニ限リ撰任セラルルモノ
二、ハ公民ニ限ラサルモノ
三、ハ公民ニ限ラサルモ就職ニヨリ之ヲ得ルモノ
此區別ニヨリ吏員ノ失職ハ理由ニ于シ長ナルコトアリ即

市町村吏員失職ノ原因

第一種ノ職ニアルモノハ公民ノ要件ヲ失ヒ又ハ停止セラレハハ職ヲ失フ
第三種ノ職ニアルモノハ公民権ヲ停止セラレハキモ故ニ係ルハハ其職ヲ失フ

其他名譽職ハ一定ノ責故アル場合ノ外職ヲ辭スルヲ得ス及之有給職ハ何時ニテモ之ヲナシ得ルヲ通則トス

市町村吏員ノ權利

吏員ノ權利ニ干シテモ名譽有給ニ職ヲ區別スレハ(1)名譽職負費ノ弁償ヲ受ケ得又時ニ報酬ヲ受ケ得ルモ(2)給料及退隱料ヲ受ケルヲ得ス

全業務

吏員ノ業務ニ于テモ二者ノ區別ニヨリ異レリ(1)名譽職ハ本来本業ノ旁從吏スルモノナレハ他ノ吏ニ從フヲ妨ケス(2)有給職中市町村長及市町村助役ハ有給ノ職ヲ兼テ又ハ株式会社ノ重役ヲルヲ得ス其他ノ營業ハ監督官廳ノ許可ヲ要ス
吏員ノ業務ニ背クハ懲戒処分ヲ行フ其処分ハ市町村輕微ノ者ニ限リ之ヲ行ヒ得ルモ概シテ言ハハ之ヲ行フ權ハ監督官廳ニアリ然レ

懲戒所分

倍償及可者

氏之ニヨリ解職スルハ特別ノ手續ニヨリ合議体ニ於テ裁可ス
市町村吏員職分ヲ尽サス又ハ權限ヲ越ヘテ市町村ニ損害ヲ与ヘ賠償スレキハ市ハ府県參事會町村ハ郡參事會之ヲ可ス

府県執行機

府県ノ執行機ニハ(1)郡長府県知事ナリ而シテ(2)府県郡ノ官吏ハ其行政ニ付テ知事及郡長ヲ補助スルモノナリ(3)然レハ是等ノ外府縣郡ニ有給ノ府縣郡吏員ヲ置クヲ得又(4)財産若クハ營造物ノ管理其他行政吏員ノ一部ヲ調査シ又ハ臨時吏員所集ノ為委員ヲ置クヲ得

市町村議決機

市町村ノ議決機ニハ市會町村會ナリ公民ノ投票ニヨリ之ヲ組織シ(1)町村會ハ町村長ヲ議長トシ(2)市會ハ議長ヲ互選ス投票ハ等級ニヨリ之ヲ行フ

等級投票

住民ヲシテ可成広ク團體公分ニ參與セシムルハ一般ノ勢ナリ然レハ徒ニ多數ヲシテ勢力ヲ恣ニセシメナハ貧者富者ヲ愚者知者ヲ壓スレハ普通投票ノ弊ヲ避ケ今時ニ住民ノ多數ヲ參予セシムルヲ得セシムルハ等級投票ヲ以テ尤モヨキ方法ノ一トス殊ニ代議

趣旨ハ社会ノ諸元素ヲ實際ノ千係ニ比例シ縮寫シテ議會ニ
 反映スルニアレハ平等ノ撰挙権ハ及テ代議ノ本旨ニ及スヘシ、等級
 撰挙ハ可成団体ノ諸元素ヲ勢力ノ多少ニ応シ代表セシムルカ
 ルニアリ殊ニ地方団体ハ経済ニ于スル支分行政ノ大部ヲ占ムルハ
 用ノ負担ノ大ナルモノニハ公分ニ参予スル權ヲモクシシ負担ト公權
 ト兼行ヲ得セシムルヲ要ス唯此方法ニヨレハ富ノ分配ノ情況ニヨリ全
 負担ニ任スルモノモ一區ニテハ一級ニ他區ニテハ三級ニ入ルノ不公平アル
 アルモ市町村ノ如キ狭区域ニテハ此弊寧少シ我制ニヨレハ市ニハ撰挙
 人ヲ分テ三級町村ニハ二級トス撰挙人ノ收ムル直接市町村税額ヲ
 三分又ハ二分シ最多ク納税スルモノヨリ漸次其一部ニ滿ル迄ヲ以テ
 級ヲ組織セシム

例外
 (1) 唯町村ニ於テ富ノ分配平均ヲ得等級ノ必要ナキ中ハ之ヲ分テサ
 ルヲ得
 (2) 小町村ニ於テハ郡参事會ノ議決ヲ経余例ニヨリ撰挙人ノ總會ヲ
 以テ町村會ニ代ユルヲ得

郡府縣ノ議決権ヲハ郡會府縣會ナリ此二者ハ間接撰挙ニヨリ
 組織スルモ改正郡制府縣制ニヨレハ撰挙人ノ直接ニ撰挙セル議
 員ニヨリ議長ハ各議會ニ於テ撰挙ス

撰挙権ノ要件ハ郡府縣内ノ市町村公民ニシテ市町村會議長ノ
 撰挙権ヲ有シ其府縣郡内ニ一年以來直接國税三圓以上ヲ納ムル
 ナリ

被撰資格ニ付テハ郡ハ五圓府縣ハ十圓ノ納税ヲ要ス

郡ニハ郡参事會府縣ニハ府縣参事會アリ

(1) 郡参事會ハ郡會ノ撰挙ニ係ル各議員参事會員ヲ以テ組織シ
 郡長ヲ以テ議長トス

(2) 府縣参事會ハ府縣會ノ互撰セル各議員参事會員及府縣知事
 府縣高等官ニ名ヲ以テ組織シ府縣知事ヲ議長トス

(1) 郡府縣
 此二會ハ市参事會ノ如キ執行権ヲニアラス 議決権ヲナリ其職分ハ
 主トシテ府縣會郡會ノ委任ヲ受ケ又ハ急施ヲ要スル場合ニ之ニ代リ
 テ議決シ及議決ノ細目ニ付テ議決スルニアリ

行政法概論

(2) 口家ノ
支務

參事會ハ特ニ予ヘラレタル權限ニ限リ行フヲ得ルハ郡會府縣會ト全
シ然レバ又郡府縣ノ議決權ヲタル外特別ノ明文殊ニ市町村制ニヨリ
國ノ支務ニ付裁決スハ議決ヲナスコトアリ此場合ニハ官廳ノ性質ヲ有
ス(訴願ノ又決及許可)

第七 地方自治體ノ監督

監督ノ
主体

地方團體ハ自治ノ權能ヲ有スレバ國家ノ權干ナレハ其監督下ニ立ツ
監督權ノ主体ハ常ニ國家ナリ、上級地方團體ノ權干ハ往々監督
ノ任ニ當ルコトアル之等ノ權干モ國家ノ權干トシテ僅クモノニシテ上級
級團體ノ權カヲ行フニアラス

監督ノ
目的

監督ノ目的ハ地方團體ヲシテ法律上ノ義務ヲ充ツシムルニアリ其國
家ニ對スル義務ハ(1)消極ニ法規ニ反カス公益ヲ害セザルト(2)積極ニ目
的タル國家支務ヲ行フノ兩面アリ故ニ監督ノ目的ニモ二極ノ兩面アリ

監督ノ
範圍

監督權ノ範圍ハ広狭一テラサルモ國家ノ權干ニ指揮命令ノ權ヲ與
フルルハ團體ヲシテ獨立意思ヲ失ハレシメ自治ヲ廢スルニ至ル又一方ニ於

監督ノ
作用
ノ、最少量

テ法規ハ團體ノ權能ノ範圍ヲ定ムルモノナレハ地方團體之ヲ犯スヲ防
ク途ナキハ團體ハ國家ノ定メタル羈束ヲ脱スシテ而シテ團體ノ
法規ニ反クハ積極ニ其禁スル所ヲ犯スニアラザリ又消極ニ其命スル所
ヲ行ハサルニアルコトアリ故ニ監督權ハ左ノ三種ノ權ヲ含ム
一、團體法規ニ反キ權限ヲ越スルヲ制止スル權
二、前ノ手段ハ團體法規ニ反キ積極ノ支務ヲ尽サシム場合ニ適用ナシ
此場合ニテハ國家ハ之ヲ強制スル手段ヲ有スヘキナリ
市町村制ハ市町村ニ法律上必要ノ費用ヲ豫算ニ載セザルハ監督
官廳ハ豫算ニ加ヘ又ハ臨時ニ支出セシム(強制豫算)
又府縣制ハ郡制ヲ又市町村會ニテ議決スヘキ支項ヲ議決セザルハ
ハ府縣郡參事會之ニ代ル又府縣制ハ郡制ヲ
三、前述ノ如ク積極消極ニ法規ニ反スルコトヲ制スル目的ヲ達スル為メ
國家ハ團體支務ノ實況ヲ監視スルヲ要ス之ニ主動ノ方法ト變動
ノ方法トアリ

監督官廳ハ團體ニ付檢閲ヲ行フ權アリ又之ヨリ報告ヲ徵スル權
ヲ有スル

行政法凡論

アリ是監督權當然ノ作用ニシテ市制町村制郡制府縣制ノ明認
ハハ所ナリ

法律ノ
認カ
其他ノ

以上列挙ノ三種ノ權ハ監督權必然ノ作用ニシテ之ナクハ団体ノ國家
機于タル干係ヲ保ツカラス是實ニ監督權ノ *Minimum* ナリ此ノ他
法ハ猶數多ノ權ヲ認ム其目凡ノ如シ
一、現行法ハ議會ノ議決權限ヲ越ヘ又ハ法規ニ違反セル時ノシテ
其公益ヲ害スル場合ニモ令一手段ヲ用エルヲ許セリ近時立法ノ趨勢
ヲミルニ漸自治制ノ範圍ヲ広メ公益ヲ害スルニヨリ団体ノ意思ヲ
抑制セサルニアリ市制町村制ノ強制豫算ニ干スル規定ハ府縣郡
制ニ置ケル類似規定ト異リ違法ノ場合ノミ適用セラル
又、議決ヲ認可スルノ議決
市町村(1)自主權ノ作用(2)地方団体及財政上重要ナル事件ニ付
テハ一団体ニ對シ國家ノ利益ヲ守ル爲メ一団体自己ノ利益ヲ保護
スル爲認可ヲ經テ始メテ議決ノ効力ヲ生セシム是又後ノ理由ヨリス
ルモノハ廢セラハ、傾ナリ

3、団体ノ責務ヲ強制スルヲ目的トスル場合ノ外國家ハ特別
ノ理由ニヨリ機于ラシテ団体ノ責務ヲ行ハシムルナリ(區会ノ條例ハ
監督權之ヲ定ム)

4、國家ハ団体ノ機于間ニ意見ヲ異ニセル際之ヲ文決スル權アリ
議會參事會ノ議決違法越權又ハ公益ヲ害スト認ムルハ、執行
機于ハ監督官廳ノ文決ヲ承ノ得
分、機于ノ組織ニ干予スル權

國家ハ或ハ団体ノ更替ヲ任命シ又ハ其撰挙ヲ認可シ及更ニ
對シ懲戒ヲ行フアル前ニ逐ヘシ如シ國家ハ又勅令ヲ以テ府縣
會ヲ解散シ内務大臣ハ命ニヨリ郡市町村會ヲ解散スルヲ
得

監督權
ヲ行フ
當リテ
制限

以上列挙セルハ國家地方団体ニ對シ有スル監督權ノ主ナル作用
ナリ國家監督權ヲ行フニ當リテハ法規ノ定ムル所ニヨルヲ要ス若
此以外ニ出テ、之ヲ行ハントセハ地方団体ノ自治權之ヲ犯スモノ
シテ団体ハ救済ヲ求ムル手段ヲ有ス

于文去凡命

W. 323.5
I. 14
1011

35
12

行政法沈論大尾

強制豫算法遂決取消ノ如キ純然タル法律上ノ問題ニ于スル一
ニノ特定ノ場合ニ行政文判所ニ出訴セ得其他ハ(一)訴願ヲ起ス
ヲ得
住民団体ノ概于ニ対スル不服ハ特別規定ノ場合ニ限り訴願ヲ許
シ団体ノ監督官廳ニ対スルモノハ広ク訴願ヲ許スハ我方地制
度ノ採ルル主義ナリ

昭和 39. 年
第 5010 號
3月27日

最高裁判所図書館
000126536



Inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black

Kodak Gray Scale

C **Y** **M**

© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

